

名取市産学官連携促進事業審査会会議録

1. 会議の年月日

令和8年6月9日（火） 午後1時30分から午後2時45分まで

2. 会議の場所

名取市商工会 2階大会議室

3. 出席委員

洞口委員、佐藤委員、小松委員、山家委員

4. 会議に出席した者

商工観光課 守課長、越河主幹兼商工振興・雇用促進係長、片桐主査

5. 会議の概要

(1) 開会

本日の会議について、「名取市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開しているが、傍聴者はいない旨を報告し、開会した。

(2) あいさつ（渋谷副市長）

本日は2件の応募事業について、審査を行っていただく。

市内産業の活性化や教育機関との交流、連携がより一層深まることが期待されるので、委員には活発にご審議いただきたい。

(3) 委員長の互選

「名取市産学官連携促進事業補助金交付要綱」第12条に基づき、渋谷副市長を仮議長とし、洞口委員長を選出した。

(4) 審査

(ア) 審査方法等について

事務局より審査の流れ及び審査方法と審査ポイント、また、各審査項目が平均3点以上獲得することを事業採択要件とする旨が提案され、了承された。

(イ) 「名取市生産きくらげを使用した商品開発（仮）」

（午後1時40分～午後2時00分）

事業者：株式会社一路 1名

教育機関：尚絅学院大学 2名

当日配布資料に基づき、申請者より今年度の計画内容について説明が行われ、その後、質疑応答が行われた。

【質疑応答概要】

Q：商品開発が目標として挙げられているが、販売までの具体的なスケジュールは。

A：ある程度の案はあるが、現時点で確定はしていない状況。今後教育機関と連携していく中で今年度中に商品を開発し、販売しようと考えている。

Q：計画の中にパッケージのデザイン完成とあるが、商品開発の内容が固まっていないとパッケージの検討も難しいと考える。パッケージ制作のスケジュール感は。

A：現時点で商品開発の内容は確定していないが、案としては、3ミリカットきくらげをパンやヨーグルト、プリンに入れて栄養を補給したり、食感を楽しむことができるスイーツなどを考えている。今後試作を進めていき、今年度中に商品化したい。

Q：保育所の給食との連携とあるが、具体的にどのようなものを考えているか。

A：炊き込みご飯やハンバーグなどを考えているが、今後保育所と具体的にどのようなものを提供できるか調整を進めていきたい。

(ウ)「名取まるごと弁当プロジェクト」

(午後2時00分～午後2時30分)

事業者：おべんとうのトミー 1名

教育機関：尚絅学院大学 2名

当日配布資料に基づき、申請者より今年度の計画内容について説明が行われ、その後、質疑応答が行われた。

【質疑応答概要】

Q：教育機関との連携について、具体的な内容を教えてほしい。

A：教育機関には、学生に商品を試食してもらい、そのフィードバックをいただき商品化に向けて改善していきたい。また、昨年度も教育機関にロゴマークデザインなどもしていたため引き続きデザイン面や、お祭りでの商品販売時に学生に協力してもらうことも考えている。

Q：事業計画に「名取市産のきくらげを使用して」とあるが、どこのきくらげを使用する予定か？また、それ以外に活用を考えていて、実際にアプローチしようと思っている先はあるか？

A：現時点では株式会社一路のきくらげを使用し、商品を試作したいと考えてい

るが、試作していく中できくらげ以外にも可能性があれば取り入れていきたい。現状でそれ以外のアプローチしている先はない。

Q：達成目標として試験販売とあり、事業説明の中でも祭りでの販売も考えているとのことだが、具体的にはいつ頃試験販売を考えているか。

A：秋頃を考えている。大学でのイベントや市のイベントで可能な限り販売していきたい。

Q：達成目標として令和9年度にはプレミアム弁当を商品化とあるが、今年度試作、改良を進めていき、それをもってお弁当化していくということか。

A：具体的な内容が固まってから商品化、パッケージ化していくかなど、その先の販売方法等を検討していきたい。

Q：計画の中でロゴ・シンボルマークを活用とあるが、令和7年度に作成したものを活用し、パッケージ等を作っていくイメージか。

A：令和7年度に作成したラベルなどをお弁当のパッケージに貼り付けるなど、地域活性化や商品をPRするのに最適な形で、作成したロゴ・シンボルマークなどを展開していきたいと考えている。

Q：令和7年度は食べ歩きができるストリートフードの開発を目標にしていたところから、今年度はきくらげを混ぜ込んでやきそばを作る計画とのことだが、商品としてのインパクトが弱いのではないかと考える。どういった思いからなのか。

A：祭りなどのイベントでの販売ということを考えると、やきそばは祭りで人気な商品という印象がある。また、事業者の主力商品がやきそばということもあり、それを名取市産のきくらげを掛け合わせて、名取市全体が活性化すればと考えてのことである。今後商品を試作・教育機関と連携していく中で、内容については具体的に検討していきたい。

(エ) 審査結果の集計・発表

事務局より事業者評価表の総括表を各委員に配布し、結果内容を読み上げて、2事業者全ての項目で平均3点以上となった旨の報告を行った。

委員長より、審査結果に基づき採択することで全出席委員の了承を得た。

(5)閉会

事務局より、本日の審査結果を市長に報告した後、補助金交付の可否を決定の上、市ホームページにも結果について掲載する旨説明し、了承を得て審査会を終了した。